

野球殿堂博物館夏休み企画 夏休み自由研究のすすめ 「野球で自由研究!」協力報告

佐藤雅幸(経済学部教授)、齋藤 実(文学部教授)

野球殿堂博物館(公益財団法人)は、東京都文京区の東京ドーム内にある野球専門の博物館で、館内には、プロ野球、アマチュア野球の発展に貢献し野球殿堂入りした方々の肖像レリーフが飾られ、野球に関連した資料が数多く収蔵・展示されている。常設展示の他、定期的な企画展示をおこなっているが、夏休み期間中においては小学生の自由研究のサポートとの位置付けで、自由研究に繋がる内容の野球展示を行っている。2020年度および2021年度は新型コロナの感染対策のため、博物館での実物展示に加えオンラインで情報提供を開始した。報告者は、野球殿堂博物館より2021年度のオンラインでの情報提供(セミナー)の依頼を受け、企画・実践した。その内容について報告する。

- 主催:公益財団法人 野球殿堂博物館
- 協力:一般社団法人 日本野球機構、株式会社NPBエンタープライズ
- 開催日:7月22日(木) 13:00~14:30
- テーマ:~スポーツや勉強もどんどん上達! ~ 「こころ」をきたえる
- 開催場所:オンラインによるセミナー(会場:専修大学2号館ラーニングスタジオ)
- 参加人数:小学生約70人が参加(保護者同席)
- 担当:佐藤雅幸スポーツ研究所顧問、齋藤実スポーツ研究所所員、ジャーナリズム学科齋藤ゼミナール3年生10名

<セミナー内容>

セミナーは「こころをきたえる」をテーマに解説、実験、質疑応答の3部構成で企画し、佐藤顧問が講師、齋藤所員が司会を担当

した(図1)。

学生によるジャンケンを使ったアイスブレイクの後、一流スポーツ選手の事例紹介や騙し絵の活用により、「こころ」について、講師と司会の掛け合いにより解説を行った。その後、自宅でも実施可能な心理学的実験として、①ポジティブ・ネガティブワードがこころに与える変化、②イメージトレーニング、③目標設定の方法、④発声による身体機能への影響の実験を紹介した。②、③、④については学生が事前に作成した実験動画をセミナー時に再生し解説を行った。また、動画はセミナー後も参加者が参考にできるよう、特設webサイトにて公開した。その後の質疑応答では、「緊張したらどうすれば良いか」、「やる気を出すためには」、「集中するためには」といった質問に講師が回答を行った。

セミナー後、保護者に対しアンケートを実施したところ、セミナーの内容は概ね好評であり、90分のセミナーであったにもかかわらず参加した小学生は楽しく受講できたとの感想が多く寄せられた。また、セミナーの企画に参画した学生からは、スポーツ心理学の学びを深める貴重な機会となったとの声が寄せられた。今回のセミナーは、スポーツ科学研究の成果を小学生やその保護者に対して情報提供する貴重な機会であり、それを野球殿堂博物館、スポーツ研究所所員ならびに学生と協働で実施することができた。アンケートでは、今後のスポーツや学習に活かせると回答が得られたことから、参加者にとっても有益な情報を提供できたと考えられる。協働で実施した本セミナーは、今後のセミナーのフォーマットとして活用できよう。



セミナー風景 (オンライン)

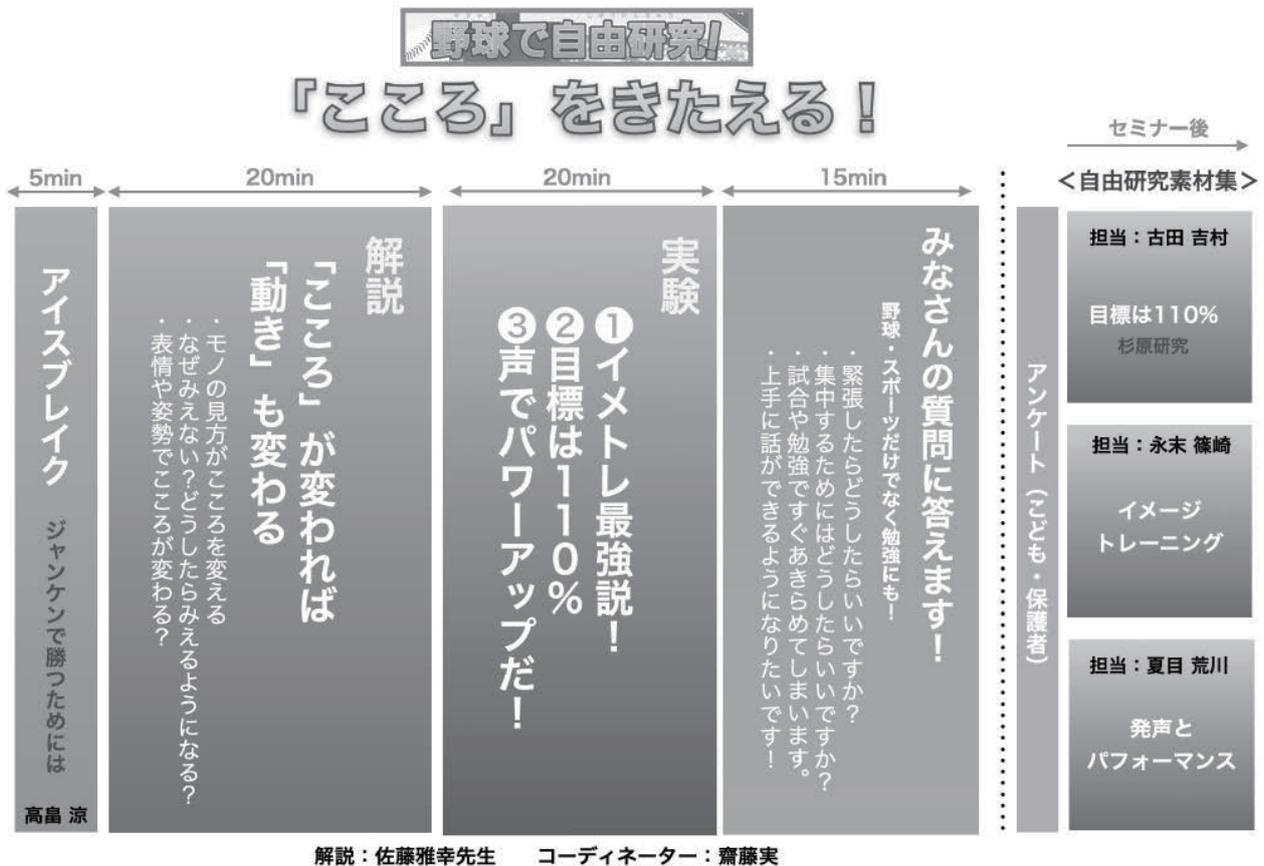


図1) セミナー企画概要

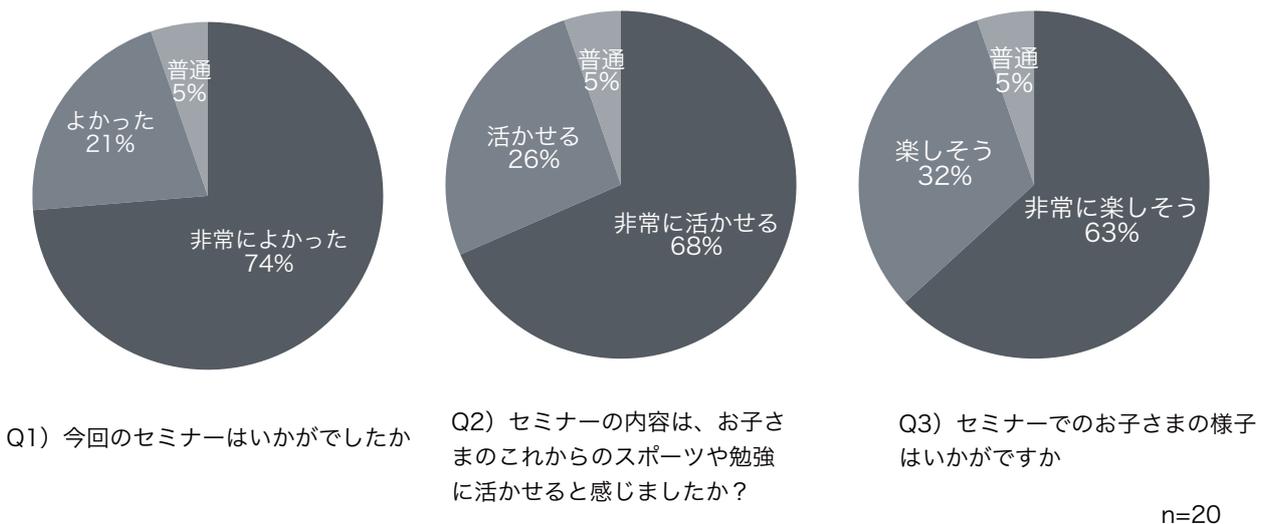


図2) 保護者対象のアンケート結果